

調達管理番号・案件名
26a00220_フィリピン国マニラ首都圏の持続可能な開発に向けた公共交通の連結性向上及びレジリエンス強化に係る情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2026年6月26日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	9	既存のLRT1号線、LRT2号線、MRT3号線、建設中の南北通勤鉄道およびマニラ首都圏地下鉄の新たな乗換拠点の整備による利便性の向上	南北通勤鉄道・マニラ首都圏地下鉄に関しては、現在建設段階中のため、現地調査では内容が確認できません。よって駅位置をはじめとした図面についてDOTrに確認する必要がありますが、機密性の高い情報と思料しているため、入手にあたってJICA様のご支援をいただけるかどうかご教示いただけないでしょうか。	調査の円滑な実施に向けて必要に応じてDOTrとの連絡・調整を支援することは可能です。その際、必要な資料や確認事項を整理いただければと思います。
2	11	レジリエンス強化	地震、火災、人身事故、犯罪対策等、検討対象のテーマが非常に幅広いですが、特に検討を優先すべきテーマがあればご教示ください。	これらのテーマは、いずれも重要な観点であると認識していますため、特定のテーマのみに優先順位を設けるのではなく、まずは全体を俯瞰しながら総合的に調査を進めていただきたいと考えています。その上で、調査の過程において優先度の整理が必要となる場合には、改めてご相談いただければと思います。
3	11	第4条調査の内容	鉄道路線の連結性強化の検討において、「鉄道連結性に関するハード面(共通駅、通路、結節施設)およびソフト面(路線間の運行計画(路線間の乗換時間)、利用者導線(脆弱層含む)、運賃制度、関係機関の能力、用地取得等)の課題整理」とあるが、調査期間を考慮すると、設計図・竣工図レベルでの議論は不要との理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。質問番号4の回答をご参照ください。
4	11	第4条調査の内容	短期・中長期協力プログラム形成においても、調査期間を考慮すると、図面レベルでの議論・提案は不要との理解でよろしいでしょうか。	本調査においては、図面レベルのご提案をいただくことは想定していません。主な目的は、連結性の向上およびレジリエンスの強化に関する課題を整理し、その改善の方向性を明確化することにあります。一方で、図面によるご提案自体は必須ではありませんが、上記の調査目的に資するものであり、かつ限られた人月の範囲内で対応可能な場合には、補足的に図面に言及いただくことを妨げるものではありません。
5	11	第4条調査の内容	情報収集においては、貴機構の非公開報告書(メトロマニラ地下鉄の詳細設計調査など)は貴機構から共有いただけるとの理解でよろしいでしょうか。	必要に応じて共有の可否を検討します

以上